

やいた de ハロウィン

矢板花火大会の十周年記念イベントの一つとして、「日本一早いハロウィン仮装大会」を企画・運営を担当する「たかはらさくら青年会議所」と「やもり倶楽部」の和田理事長と「やもり倶楽部」の渡辺さんに今回の活動についての意気込み、思いをお聞きました。

●この活動を企画したきっかけは？

市内には、「たかはらさくら青年会議所」「やもり倶楽部」「商工会青年部」の三つの青年団体があり、今年の合同懇親会の席上、「今までは各団体が個別に活動していたけど、これからは一緒に活動しよう」と意見が一致しました。各団体とも根本的には「矢板を良くしよう」との思いを持っていて、その思いを話す機会が多くなりました。

そこで、何をするかということになり、今まで矢板で行ったことの無い、例えば、日本一長い流しソーメンや里山での活動などの意見がでましたが、最終的に秋のイベントとして、十月末の秋の収穫を祝うというイベントであるハロウィンを前倒しをして、花火大会に合わせることにしました。

●どんな内容？

いろいろな趣向を凝らしたハロウィンの仮装をしたグループが会場内をパレードします。仮装コンテストは衣装やパフォーマンスを審査し、最優秀の第一位には、十万円が授与され、ほかにも多くの賞を用意しています。参加賞は、参加した方の「思い出」賞です。皆さんも良い思い出作りにぜひ参加してください。ちびっこ向けの無料コスプレブースも用意しています。

パレードは、午後五時からスタートしますが、受付は、午後二時からです。先着順で百組としていますので、早めに来場してください。更衣場所も用意しています。知っている方も参加しているかもしれないので、ぜひパレードも見てください。



●最後に

初めての試みなので成功するかどうか不安ですが、多くの方に参加していただき、楽しんでもらいたいです。そして、イベントタイムの吹奏楽演奏やダンスと共に仮装大会を楽しみ、十周年記念の花火を堪能していただくことを願っています。

(T・M)



やもり倶楽部 渡辺さん

たかはらさくら青年会議所 和田さん

矢板の一番物語

市内3高校 イチオシの部活を紹介します！！

輝く矢板中央高等学校女子剣道部

矢板中央高等学校の女子剣道部が、今年五月に第十二回謙信公杯（全国から百校ほどが参加）で優勝し、六月には栃木県総合体育剣道大会兼関東高等学校県予選会で準優勝し、六年連続七回目の出場を果たすなど、各種剣道大会で活躍しています。主将の小林奈央さん（二段）、寺井寿倫（三段）さん、人見竜大監督（六段）にお話を伺いました。

●創部はいつですか？

今年で十一年目になります。立ち上げたときは、三人ぐらいから始めましたが、現在十六名（三年生七名、二年生三名、一年生六名）で活動しています。中学校の時から剣道が続いている部員がほとんどです。

●練習量はどのくらい

毎日二時間から二時間半ぐらい練習し、土日は、県内外へ行って練習試合をしています。夏休みには、九州をはじめとして県外の遠征に行っています。

●主将として、部員をまとめるのに心掛けていることは

「心得」を念頭に、部

員全員の意見を聞いてまとめるように心掛けています。おかげで、明るく、にぎやかに活動しています。

●人見監督が部員に期待していることは

女子剣道部の「心得」を部員に徹底し、練習を重ねて、試合に勝てるように全力で取り組み、卒業してからでも、剣道だけではなく、世間に通用する当たり前の生活ができるような人間になってもらいたいと思っています。

（記者のコメント）

体育館に行くと、部員が出迎えてくれて、帰りが全員で見送ってくれました。女子剣道部の「心得」が部員にしっかりと根付いていることを実感しました。また、体育館の壁には、先輩からのメッセージ「夢があるなら心

(T・H)



心得

- ・素直であること
- ・好奇心旺盛であること
- ・忍耐力があり、諦めないこと
- ・準備を怠らないこと
- ・気配りがあること
- ・夢を持ち目標を高く設定すること
- ・挨拶、礼儀を大切にすること
- ・感謝の気持ちを忘れない

矢板中央高等学校女子剣道部